

科目	工業英語 (ESP, Engineering)		
担当教員	木津 久美子 非常勤講師		
対象学年等	電子工学科・5年・前期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	B4(100%)		
授業の概要と方針	科学技術の革新的なアイデアを紹介するBBC Futureの記事を題材に,英語を理解し表現する力を養う。(1)英文記事を理解するのに必要な語彙力を身につける。(2)文構造を理解し意味を的確に掴む。(3)語彙と文構造の知識をもとに,自ら英文を組み立てる力を培う。(4)パラグラフ構造を理解し,英語で要約を考える。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	[B4]必要語彙を習得することができる。		必要語彙を習得できるかを中間試験,定期試験,発表及び小テストで評価する。
2	[B4]文構造を理解し意味を的確に捉えることができる。		文構造を理解し意味を的確に捉えることができるかを中間試験,定期試験,発表で評価する。
3	[B4]科学技術に関する英文を作ることができる。		科学技術に関する英文を作ることができるかを中間試験,定期試験,発表及び小テストで評価する。
4	[B4]パラグラフ構造を理解し要約を考えることができる。		パラグラフ構造を理解し,英語で要約を考えることができるかを中間試験,定期試験,発表で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は,試験70% 小テスト10% 発表20% として評価する.到達目標1~4についての試験70%,到達目標1, 3についての小テスト10%,到達目標1~4についての発表20%で総合的に評価する.100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	Innovation and Technology 『未来を見つめる科学英語』南雲堂 デイビット・リア,印南洋,川口恵子,村上嘉代子(著)		
参考書	『工業英検3級問題集』『工業英検3級クリア』(社団法人 日本工業英語協会)		
関連科目	本科の英語科目		
履修上の注意事項	記載しているテキストのUNITは目安で有り,履修者の関心や授業の進行具合に応じて変更する可能性があります。		

授業計画(工業英語)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	オリエンテーション及び文構造とパラグラフ構造	授業の臨み方・進め方及び評価方法について説明する。英語の文構造をレビューし、パラグラフ構造について学ぶ。
2	Unit 1「自動車の拡張現実機能」(1)	拡張現実機能に関する記事を読む。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。パラグラフ構造を理解し、大意を掴む。
3	Unit 1「自動車の拡張現実機能」(2)	語彙小テストを行う。記事のレビューを行う。関連する記事を読む。トピックに関連した英文を組み立てる。
4	Unit 2「知的ロボット」(1)	人工知能に関する記事を読む。英作文の小テストを行う。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。パラグラフ構造を理解し、大意を掴む。
5	Unit 2「知的ロボット」(2)	語彙小テストを行う。記事のレビューを行う。関連する記事を読む。トピックに関連した英文を組み立てる。
6	Unit 3「サッカーボールによる発電」(1)	電力に関する記事を読む。英作文の小テストを行う。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。パラグラフ構造を理解し、大意を掴む。
7	Unit 3「サッカーボールによる発電」(2)	語彙小テストを行う。記事のレビューを行う。関連する記事を読む。トピックに関連した英文を組み立てる。
8	中間試験	Unit 1～3について試験を行う。
9	中間試験の解答およびUnit 8「スーパーコンピューター」(1)	中間試験の解答の後、スーパーコンピューターに関する記事を読む。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。パラグラフ構造を理解し、大意を掴む。
10	Unit 8「スーパーコンピューター」(2)	語彙小テストを行う。記事のレビューを行う。関連する記事を読む。トピックに関連した英文を組み立てる。
11	Unit 9「時速4千キロメートルの電車」(1)	超高速輸送機についての記事を読む。英作文の小テストを行う。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。パラグラフ構造を理解し、大意を掴む。
12	Unit 9「時速4千キロメートルの電車」(2)	語彙小テストを行う。記事のレビューを行う。関連する記事を読む。トピックに関連した英文を組み立てる。
13	Unit 15「車の未来」(1)	電気自動車についての記事を読む。英作文の小テストを行う。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。パラグラフ構造を理解し、大意を掴む。
14	Unit 15「車の未来」(2)	語彙小テストを行う。記事のレビューを行う。関連する記事を読む。トピックに関連した英文を組み立てる。
15	試験返却と問題解説および科目総まとめ	定期試験の返却を行い問題の解説を行う。また、本授業の総括を行いまとめとする。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	本科目の修得には、30時間の授業の受講と60時間の自己学習が必要である。 前期中間試験および前期定期試験を実施する。	